

## 2016 年度第 4 回 Faculty Café 実施報告

2016/08 報告者 大学総合研究センター職員（川合・松本）

日時：2016 年 7 月 13 日（水）16 時 30 分～18 時

場所：19 号館 共創館

実施テーマ：情報コミュニケーション技術（ICT）の活用

講演者：李在鎬准教授（日本語教育研究科）：前任校（筑波大学）での e-learning 実践事例  
佐々木宏夫教授（会計研究科）：「Metamoji Share」を使ったゼミの紹介

### 実施概要

李在鎬准教授から前任校での ICT 活用の実践事例を挙げて頂き、文部科学省の「教育関係共同利用拠点制度」を活用した日本語・日本事情遠隔教育拠点として外国人留学生に対して、e-learning による日本語能力向上を図るために行った工夫について述べてもらいました。教科書とは異なり、映像を取り入れることで、現場で使用する日本語会話とのギャップを解消することができるなどのメリットがある反面、教材作成に負担があったというお話もありました。

佐々木宏夫教授からは、iPad のノートアプリを教室のスクリーンに投影するという形で電子黒板として利用してきた経験やゼミの学生全員に iPad を持たせ、双方向的な利用のできるアプリを使って、参加者全員で同じ画面に書き込みながら議論するという手法について紹介頂きました。電子教材を使用することで、データとして残るため、授業が終わった後に見直して間違いに気づくこともできるし、翌年の授業のときに昨年はどうな話をしたのか確認して参考にすることもできるという利点があることなどをお話し頂きました。

参加者からは、「ICT を用いた日本語教育やゼミの方法が知れてとても有意義だった」、「今後も各教員の ICT 活用の実践事例の紹介をしてほしい」という感想を頂きました。一方で「もう少し質疑応答の時間を増やして欲しい」、「実践紹介に留まらず、紹介された事例からモデルプランを作り、各教員が試してみる実践研究の場とするのも有用ではないか」などのような、今後の本イベント運営に関するご意見も頂きました。

